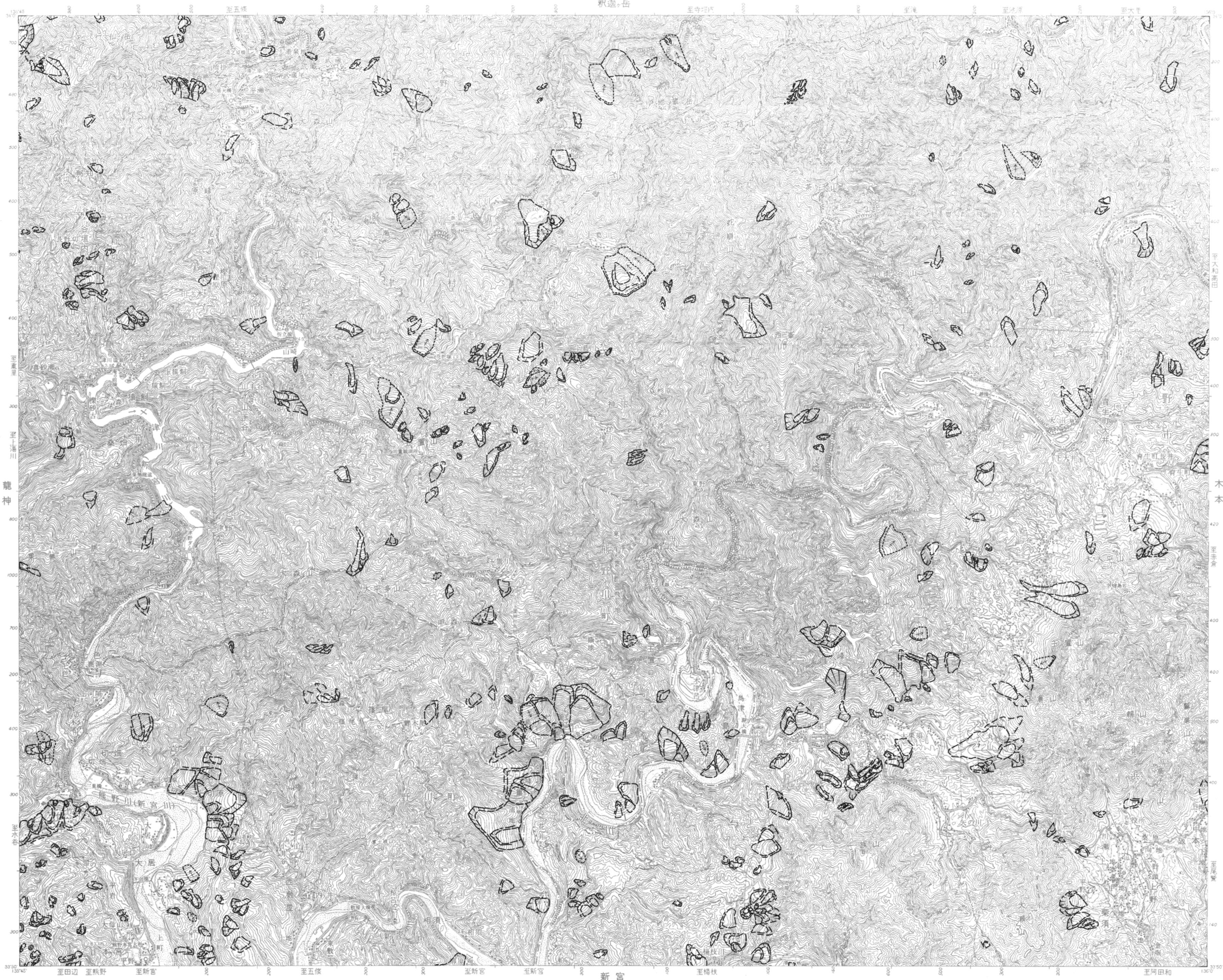


1:50,000 地形図 N1-53-16-1
とつかわ (田辺1号)

地すべり地形分布図 十津川

Landslide Map of TOTSUGAWA



防災科学技術研究所 National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention © 2008
防災科学技術研究所研究資料 第271号

調査者 清水文健・井口 隆・大八木規夫
by Fumitake SHIMIZU, Takashi INOKUCHI and Norio OYAGI
LM-451

凡　例

輪郭構造

滑落崖と側方崖

新鮮なまたは開析されていない冠頂をもつ滑落崖

部分的に開析されている冠頂をもつ滑落崖

冠頂が著しく開析された滑落崖

開析されて無くなってしまった冠頂・滑落崖の推定復元位置

共通の冠頂をもち、互いに反対方向を向く滑落崖

中・緩斜の流れ盤すべり面が地表に露出し、滑落崖にあたる急崖を呈しない斜面、冠頂は尾根の反対側斜面とすべり面との交線である。

後方崖、多重稜線等

移動体の輪郭・境界

後方に滑落崖があり、移動体の輪郭が明瞭ないし判定可能

後方の滑落崖は明瞭であるが、移動体の輪郭の判定が困難

滑落崖はほとんど開析されてしまったが過去の移動体の一部（不安定土塊）が残存している

ほかの移動体や堆積物におおわれた部分

斜面体の移動の初期状態、基岩から分離していないとしても不安定域・移動域と推定される範囲

斜面移動体かどうか判定できない山体・小丘

脚部線・削剥域下限

内部構造

二次・小滑落崖、崖線の解釈程度に応じて輪郭構造の場合と同様に表わす

雁行亀裂

サブユニットの境界、内部(二次)移動体輪郭

線状崖地・小谷底線、→は谷の出口または谷底の傾斜方向

移動体内の小尾根

池

幅の広い溝状凹地、亀裂

水のない崖地

幅の狭い溝状凹地、亀裂

膨脹地の前線

移動方向等

移動体の主移動方向

すべり

クリープ（匍匐）

流れ・押出し

落石など

前方への傾動または傾動を伴う移動とその方向

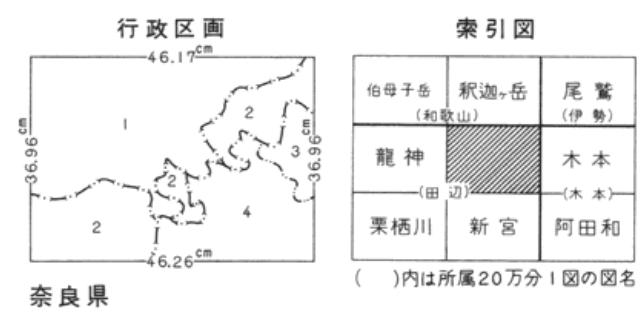
元の斜面傾斜と逆方向へ傾動した斜面の傾斜方向

その他

還急線

活断層（地すべりを変位させている顯著な断層）

地層面等および節理・断裂の走向・傾斜



()内は所属20万分1図の図名

奈良県

1. 吉野郡

和歌山県

2. 東牟婁郡

三重県

3. 熊野市
4. 南牟婁郡

1:50,000 十津川

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平17総複、第285号)」

北海道地図株式会社東京支店
内外地図株式会社